

令和元年 11 月 18 日

生徒・保護者各位

聖和学園高等学校
校長 庄子 英利

令和 2 年度 大学入試英語成績提供システム申し込みについて
(申し込み手続き中止のお知らせ)

立冬の候、皆様におかれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の件につきましては、次年度の検定試験の受験と大学入試での利用に向け、本校でも準備を進め、2 学年において共通 ID の発行申請の手続きに入っておりました。ところが、ご承知の通り、過日文科科学大臣よりコメントが出され（裏面参照）、それに基づいて 2024 年度入試までの事業の延期が決定いたしました。

つきましては、これらの状況に鑑みて、本校におけるここまでの手続きに関する業務を中止したことをお知らせいたします。なお、既に学校に提出いただいた書類に関しては責任をもって処分いたします。

さて、本事業が延期となりましても、学習指導要領で求められる英語の学力・能力が「読む」「書く」「話す」「聴く」の 4 技能に渡ることは変わりません。大学入試等でもこの 4 技能を意識した入試へと変化が進んでいくことが予想されますし、何よりこれらの技能は社会での必要性から要請されるものです。各大学においても検定を用いることで入試が優位になるケースは多く想定されます。本校においてもこれら 4 技能を生徒たちがしっかりと身につけられるよう、引き続き指導に力を入れて参ります。

また、さまざまに変化していく入試システムについても情報収集に努め、生徒や保護者の皆様への情報提供と入試制度への備えを確実に行って参ります。

引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力のほど、宜しく願いいたします。

受験生をはじめとした高校生、保護者の皆様へ

文部科学大臣の萩生田光一です。皆様に、令和2年度の大学入試における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送ることをお伝えします。

大学入試における英語民間試験に向けて、今日まで熱心に勉強に取り組んでいる高校生も多いと思います。今回の決定でそうした皆様との約束を果たせなくなってしまったことを、大変申し訳なく思います。

英語民間試験を予定通り実施するかどうかに関しては、高校生をはじめ多くの皆様から、賛成・反対、様々な意見をいただけてきました。

私としては、目標の大学に向けて英語試験の勉強を重ねている高校生の姿を思い浮かべながら、当初の予定通りのスケジュールで試験を実施するために、連日取り組んできました。

しかし、大変残念ですが、英語教育充実のために導入を予定してきた英語民間試験を、経済的な状況や居住している地域にかかわらず、等しく安心して受けられるようにするためには、更なる時間が必要だと判断するに至りました。

大学入試における新たな英語試験については、新学習指導要領が適用される令和6年度に実施する試験から導入することとし、今後一年を目途に検討し、結論を出すこととします。

皆様が安心して、受験に臨むことができる仕組みを構築していくことをお約束します。

今回、文部科学省としてシステムの導入見送りを決めましたが、高校生にとって、読む・聞く・話す・書くといった英語4技能をバランスよく身に付け、伸ばすことが大切なことには変わりありません。

グローバル化が進展する中で、英語によるコミュニケーション能力を身に付けることは大変重要なことです。皆様には、これからも日々の授業を大切にするとともに、それぞれの目標に向かって努力を積み重ねて頂きたいと思います。

令和元年11月1日

文部科学大臣 萩生田光一